

バランスシートからわかること

平成18年度のバランスシートを、普通会計と比較しました。

【普通会計】

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
資産 660億円	負債 247億円		資産 111万円	負債 41万円
	正味資産 413億円		正味資産 70万円	

【連結会計】 (普通会計+企業会計+公社)

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
資産 820億円	負債 384億円		資産 138万円	負債 65万円
	正味資産 436億円		正味資産 73万円	

(H19.3.31現在 59,329人で算出)

①資産総額は、820億円（市民1人当り138万円）

有形固定資産は約730億円で資産の89.0%を占めています。大きなものでは、水道事業で約103億円が普通会計の貸借対照表に加わっていることになります。

②負債総額は、384億円（市民1人当り65万円）

固定負債の「地方債」と流動負債の「翌年度償還予定額」をあわせた地方債総額は約303億円で、負債の79.1%を占めています。

③正味財産総額は、436億円（市民1人当り73万円）

一般財源・剰余金等は293億円で正味資産の67.2%を占めていますが、病院の累積赤字もあり普通会計と比較しても大きく増えていない状況にあります。

コスト計算書からわかること

平成18年度の行政コスト計算書を、普通会計と比較しました。

【普通会計】

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
費用の部	178億円		費用の部	30.0万円
収入の部	166億円	収入の部	27.9万円	
当期純剰余金△	12億円	当期純剰余金△	2.1万円	

【連結会計】 (普通会計+企業会計+公社)

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
費用の部	214億円		費用の部	36.0万円
収入の部	202億円	収入の部	34.0万円	
当期純剰余金△	12億円	当期純剰余金△	2.0万円	

①費用の部

普通会計に比べ、1.20倍となっています。主な内容は、企業会計との経費の相殺消去により補助費等が約6.7億円減少しましたが、人件費で約1.8億円、物件費で約1.5億円増加しています。

②収入の部

普通会計に比べ、1.22倍となっています。主な内容は、病院等事業収益で約1.9億円、水道事業使用料収入で約1.7億円増加しています。

③当期純剰余金

行政コスト計算書では、約1.2億円の純損失となっています。これは、水道事業会計においては純利益を確保したものの、普通会計及び病院事業会計、土地開発公社において純損失が生じたことによるものです。

④当期末一般財源等

普通会計に比べ、5.0億円減少し22.1億円となっています。これは、病院事業会計における当該年度未処理欠損金5.4億円が主な要因です。